

3月9日

テーマ：悪口を言わない

聖書箇所：ヤコブの手紙 4章11節、12節

◆今日のみことば

兄弟たち。互に悪口を言い合ってははいけません。 ヤコブの手紙4章11節

◆メッセージ

「悪口を言ったことがありません」という人は、ほとんどないでしょう。人は、どうしても人の悪いことや欠点、気に入らないことに気付くと口に出したくなるからです。そんな時に、自分を戒める必要があります。悪口を言うのはやめよう、と。そして、相手の良い点を見るようにしたら、良い友だちとなれるのではないのでしょうか。

悪口を言うことは、さばいているのだと、ヤコブは忠告しています。さばくのは、神さまがなさることではありませんか。絶対に正しい神さまだけがさばくことができるのです。それなのに、自分の考えで、人が悪いとか欠点だと決めてしてしまうのは、自分を神とすることになってしまいます。恐ろしいことですね。わたしたちは、唯一の神さまに委ねましょう。神さまが、すべてのことをさばいてくださいます。

「互いに」ですから、他の人が悪口を言いふらしている時には、愛をもって、「やめよう」と言いましょう。そして、私たちの救い主を語ることに、心を向けたいと思います。



◆お祈り

「神さま。悪口を言うことがないように、私の心も口も守ってください。神さまにおゆだねできますように。」
(支援教師 長谷部丈衛師)